



## SK松本ジュニア合唱団 2005クリスマスコンサートに寄せて

長野県松本文化会館 館長 藤巻 益夫

はじめに、「SK松本ジュニア合唱団2005クリスマスコンサート」が引き続き盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

この一年間、私たち会館全職員は、団員の皆様の厳しい練習を見守ってまいりましたが、一人ひとりの頑張りの中に強い団結力が生まれ、合唱団が日に日に成長される姿を感じさせられました。先生方の情熱にあふれたご指導、ご家族の暖かいサポート、地域の方々の励ましを胸に、美しい歌声をさわやかにホールに響かせてください。

文化は人々の心をつなぐ架け橋です。合唱を絆に、うるおいあるところ豊かな暮らしの輪が地域に広がっていくことを願うものです。

クリスマスを飾るコンサートのご成功と、SK松本ジュニア合唱団のさらなるご活躍をお祈りいたします。



## ごあいさつ

SK松本ジュニア合唱団 団長 芦田 勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中、SK松本ジュニア合唱団のクリスマスコンサートに御来場頂きまして誠にありがとうございます。

今年もこの地域を音楽一色に染めたサイトウキネンフェスティバル（SKF）は多くの人々に感動を残してくれました。SKの文字を誇りに活動続ける当合唱団は1993年のSKFが初めて上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、12年の歴史を重ねるまでになりました。団員も徐々に増え小学校1年生から高校3年生までの100名を超える仲間が練習を重ねています。

今年も長野県少年少女合唱祭への参加、保田紀子オルガン新作展への出演、またSKF歓迎吹奏楽パレードに合わせて開催したSK松本合唱団とのジョイントコンサート「お城deハーモニー」など数多くの活動を行なってきました。

こうした活動を通して未来を担う子供たちが、それぞれの夢に向かって、伸びやかに育って欲しいと心から願っています。

最後になりましたが、地域に愛されながら音楽の素晴らしさを実感できる私達の活動を支えて頂いている、長野県松本文化会館や松本市関係の皆様、また温かく見守って下さっている地域の皆様方と、多感な年代の子供たちの思いを真正面から受け止め、ご指導下さっている素晴らしい先生方に関係者一同心から感謝申し上げます。これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げましてご挨拶と致します。